

# 第10回 Wakayama HF Alert 地域連携講演会

## 開催後アンケート結果報告



特定非営利活動法人  
和歌山心不全アラート  
NPO Wakayama Heart Failure Alert

本スライドは、アンケート結果に基づき生成AIで作成しました。そのため、一部に文字の潰れや見にくいものがございます。内容は確認済みですが、不明点等ございましたら当会HPの問い合わせフォームよりご連絡ください。

# ご参加とアンケートへのご協力、誠にありがとうございました

今回の講演会では、会場・Web合わせて**130名**の皆様にご参加いただきました。

本報告では、アンケートにご回答いただいた**76名**の貴重なご意見を集計・分析しています。



会場



Web

総参加者数

**130名**

(内訳：会場 58名 / Web 72名)



アンケート有効回答数

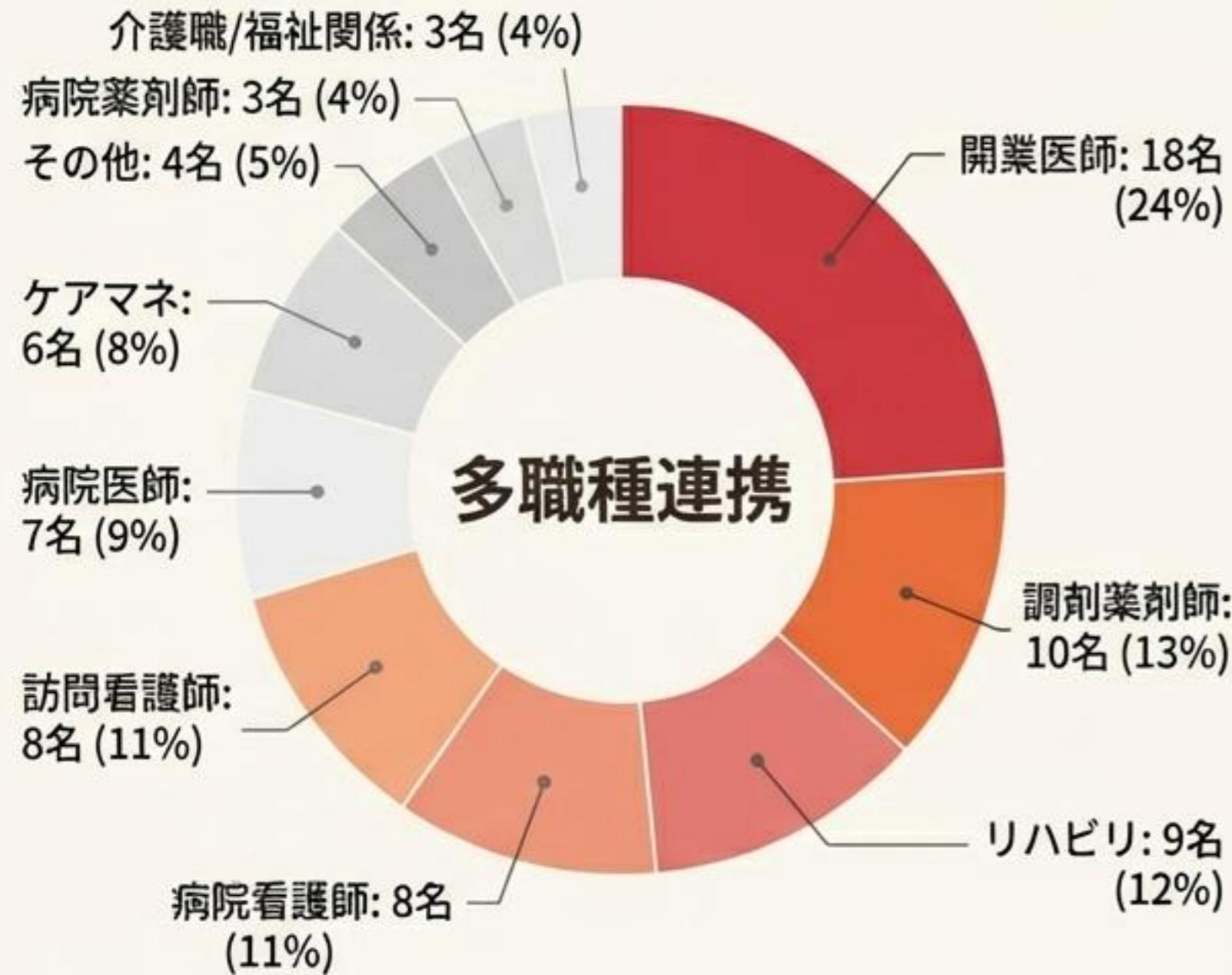
**76名**

(内訳：会場 39名 / Web 37名)

\* (会場回答45名中、開示に同意いただけなかった6名を除く)

# 多様な職種・地域から、志を同じくする仲間が集結

回答者の職種 (n=76)

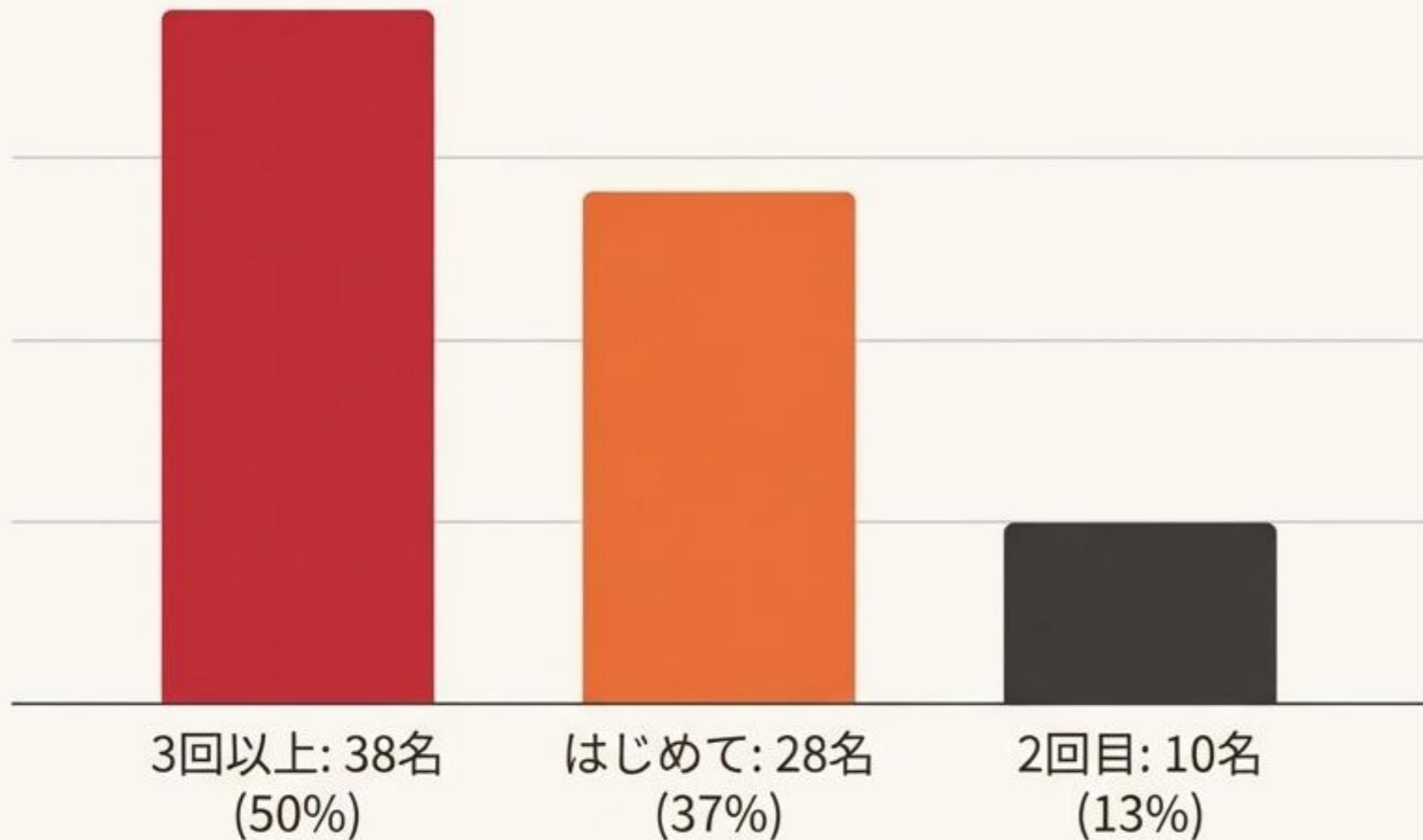


活動地域 (n=68, 無回答8)



# 半数以上がリピーター、コミュニティとしての定着を示す高い継続参加率

和歌山心不全アラートの会 参加回数 (n=76)



初参加の方が約4割にのぼり、活動の輪が広がっている一方で、半数の方が3回以上参加しており、継続的な学びの場として定着していることが伺えます。

# NPOの核心ツール①：「心不全手帳・アラート」の認知度は8割超

地域連携の土台となる「和歌山心不全手帳」および「心不全アラート」は、参加者の皆様に広く浸透していることが確認できました。

「和歌山心不全手帳」・「心不全アラート」の認知度 (n=76)



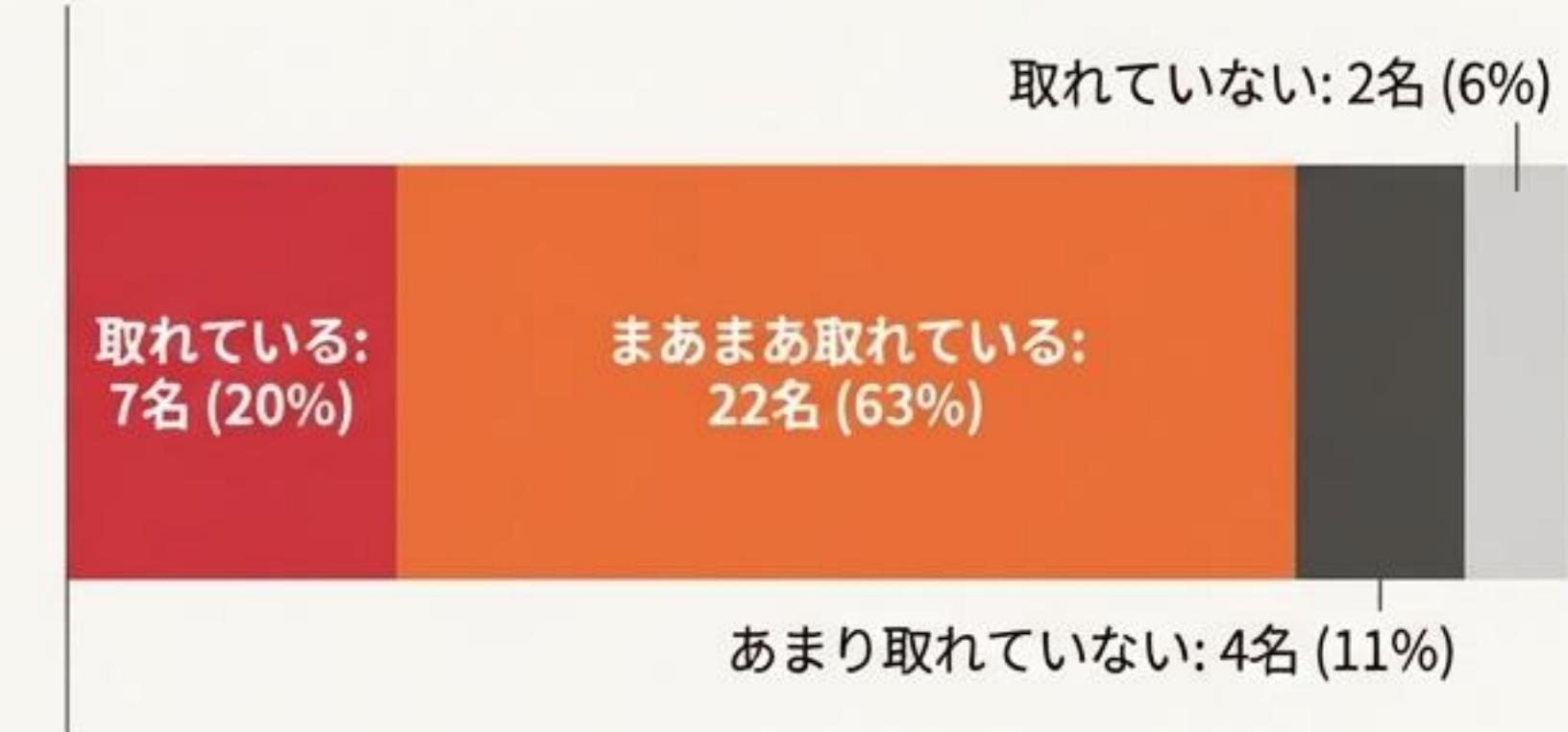
## NPOの核心ツール②：4割が使用経験あり、連携効果を実感

手帳の使用経験者は46%に達し、そのうち8割以上の方が連携が「取れている」「まあまあ取れている」と回答。ツールが実践の場で効果を発揮し始めています。

「心不全不全手帳」の使用経験 (n=76)



使用者の連携実感 (n=35)



# 一般演題：現場に即した2つの講演に、回答者の97%以上が満足

## 満足度 97%

西口毅先生「退院はゴールかつ、スタート」  
(n=67)



## 満足度 100%

菅原由香里先生「心不全ケアの継続  
-退院支援のその先へ-」(n=65)



## 参加者の声①：多職種連携とシームレスな退院支援の重要性を再認識

“

「心不全治療には多職種連携が重要であることが更に理解できた。それぞれの専門性を發揮しながら心不全のケアに繋げていきたい。」

“

「退院されてからの支援の仕方や、退院までに行うべき対応などについて深く学ぶことができました。…患者様やご家族の訴えを載せることは次に引き継いでいく上で非常に大切なことであると感じました。」

“

「大学病院の看護サマリーはテンプレート化されており…今回の講演を参考にして、看護要約や今後継続する課題を整理してバトンをつなげられる内容にしていきたいと思いました。」

“

「情報の共有と連携を実践されていることに感銘を受けました。また、ちょっとしたサインを見逃さないためにコミュニケーションをしっかりと取られているなと思い、何とかしようとする熱意を感じました。」

## 参加者の声②：日々の臨床に活きる、具体的な事例からの気づき

“

「食事内容の写真でよく分かった。治療とACPはバランスが難しい。入院-外来-自宅、施設の連携は大切。自分は外来看護師であるので調整役をしなければならないと再確認した。」

“

「独居の85歳位の高齢女性が...宅配弁当から揚げ、焼き肉、ハンバーグなど1日3回ほど食べていたことが判明...患者さんの生活環境の認識が難しいと痛感しています。」

“

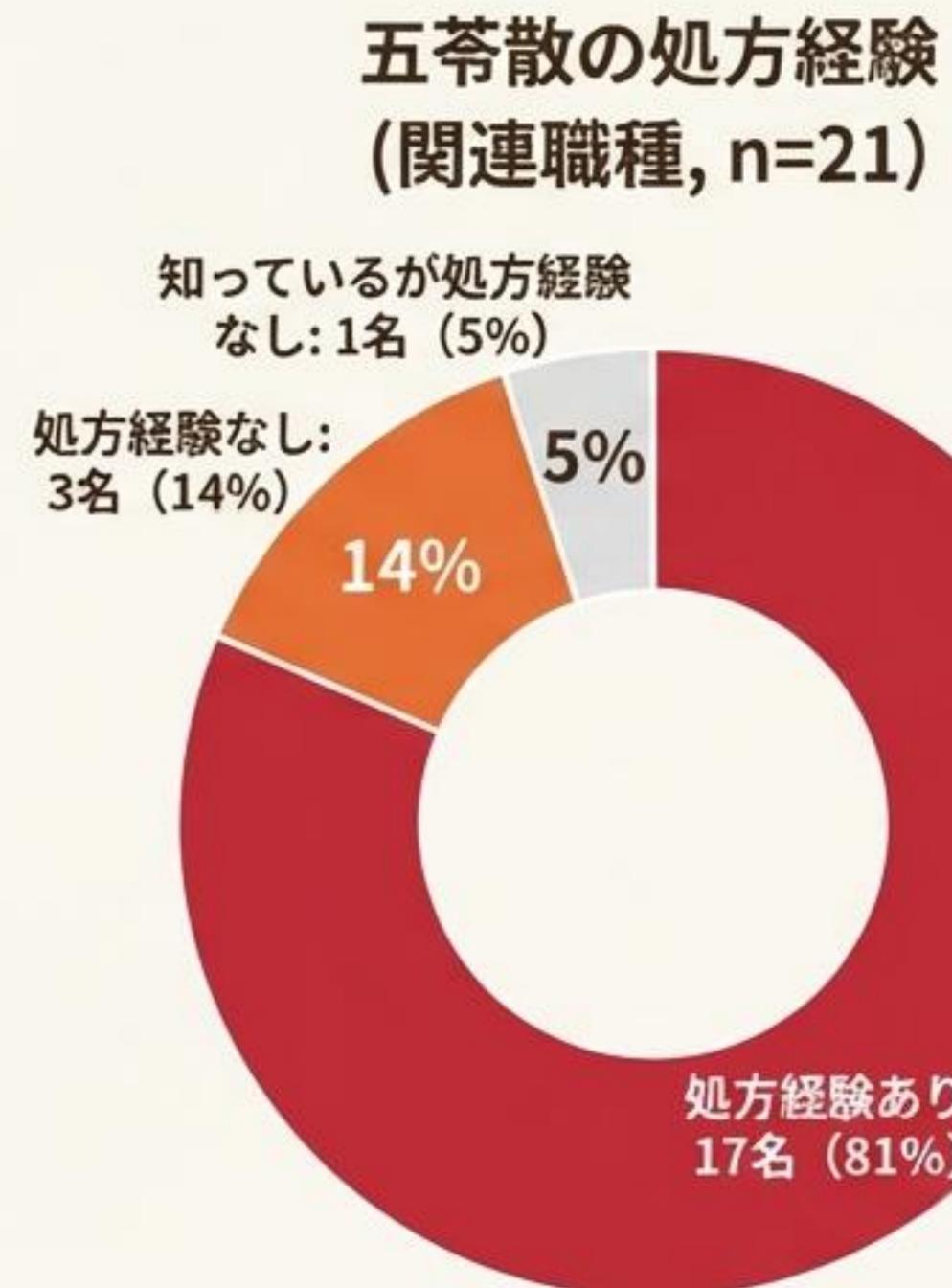
「在宅での生活習慣が治療の一部となっている事が良く分かりました。日常生活をしっかりと把握する必要を改めて感じました。」

“

「心不全の脆弱期を乗り越えるためには多職種連携が重要であるということが十分理解できた。」

# 特別講演：高齢者心不全と漢方という新たな視点に、回答者100%が満足

## 満足度 100%



## 参加者の声③：「漢方」というアプローチへの興味と多面的な診療の重要性

“

「多面的に心不全を診ることが重要であるということを再認識できました。…多職種でしっかりと連携しながら一人の患者について考えないといけないと再認識しました。」

“

「漢方の考え方を知れて興味が持てました。…薬の数、飲むタイミングをシンプルにしたいことと、予後改善効果についてどちらを優先させるか、個々に検討することが大切だと思っています。」

“

「単一疾患の治療だけでは対応できない高齢者的心不全の難しさを感じました。また、それらは日常業務をしている中で感じていることと重なっており、データで表れていました。」

“

「あまりなじみが無い漢方の話が面白かったです。とても分かりやすく漢方の説明をして頂き勉強になりました。」

# 皆様からの声が、私たちの活動の原動力です

NPO法人の活動に対し、温かい激励や具体的な改善提案など、多くのご意見をいただきました。今後の活動の参考にさせていただきます。

## 激励・継続への期待

“

「今後も勉強会への参加を続けたい」

“

「頑張ってください」

“

「多職種が参加し幅広い考え方を学べる良い機会になっていると思います。今後もつながりを大事にして活動していきたい」

## 具体的な改善提案 (Web参加) 謝意

“

「今回zoomでの参加でしたが、会場の音が聞き取りづらい場面があった。また、資料の共有のみでなく、会場の演者の方のお顔も映していただけたらなお良かったと思います。」

“

「大変勉強になりました。ありがとうございました」

# アンケート結果の総括と今後の展望



**強固なコミュニティ**：多様な職種からなる熱心な参加者が集い、半数がリピーターとして活動を支えている。



**浸透する連携ツール**：「心不全手帳」の認知度は85%。実践的な活用と連携の質向上が今後の鍵。



**質の高い学びの提供**：現場に即した一般演題、新たな視点をもたらす特別講演、いずれも回答者から97%以上の高い満足度を獲得。



**未来への期待**：皆様からのフィードバックは、今後の活動をさらに良いものにするための貴重な羅針盤。

# ご清聴ありがとうございました

皆様からいただいた貴重なご意見を糧に、NPO法人和歌山心不全アラートは、これからも地域の心不全療養の質向上と多職種連携の促進に貢献してまいります。  
今後の活動にも、ぜひご注目・ご参加ください。



特定非営利活動法人  
和歌山心不全アラート  
NPO Wakayama Heart Failure Alert

NPO法人和歌山心不全アラート <https://wakayama-hf.org/index.html>